

## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	小児援助論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室
担 当 教 員	藤原 由香 他	実務経験と その関連資格	総合病院で病棟看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》						
子どもの病気について理解する。また、紙上事例を用いた看護過程を展開して、子どもとその家族を総合的にアセスメントし看護計画を導くことができるようにする。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(80%)、事例の看護過程展開・出席状況(20%)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 小児看護学概論・小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院 系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院 根拠と事故防止からみた小児看護技術 医学書院 荃津智子著 発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程 医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
小児の形態機能、病態と治療、薬理学、小児看護学概論や小児援助論などの関連科目を復習する。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書を用いて予習・復習を行い、自ら学ぶ姿勢を持ち、主体的に参加してください。後半の看護過程は、小児の病態と治療、看護過程を習得したことを前提に授業は進みます。グループワークも個人ワークも計画的に進めてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	子供の免疫・アレルギー疾患について説明することができる。	教科書 AV機器他	教科書を読んで予習する。	
		各コマにおける授業予定	子供の免疫・アレルギー疾患について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の血液、がんについて説明することができる。	教科書 AV機器他	教科書を読んで予習する。 授業のまとめをする。	
		各コマにおける授業予定	小児の血液、がんについて			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の内分泌について説明することができる。	教科書 AV機器他	教科書を読んで予習する。 授業のまとめをする。	
		各コマにおける授業予定	小児の内分泌について			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	小児の心身症と発達障害について説明することができる。	教科書 AV機器他	教科書を読んで予習する。 授業のまとめをする。	
		各コマにおける授業予定	小児の心身症と発達障害について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の循環器疾患について説明することができる。	教科書 AV機器他	教科書を読んで予習する。 授業のまとめをする。	
		各コマにおける授業予定	小児の循環器疾患について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の消化器、腎臓の疾患について説明することができる。	教科書 AV機器他	教科書を読んで予習する。 授業のまとめをする。
		各コマにおける授業予定	小児の消化器、腎臓の疾患について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の特徴、疾患についてまとめることができる。	教科書 AV機器他	教科書を読んで予習する。 授業のまとめをする。
		各コマにおける授業予定	小児の特徴、疾患のまとめ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	本授業における疾患の子どもと家族の看護を述べることができる	教科書 AV機器他	この授業に関連する疾患について復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	先天異常(ダウン症候群)、代謝性疾患、消化器疾患の子どもの看護		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	本授業における疾患の子どもと家族の看護を述べることができる	教科書 AV機器他	この授業に関連する疾患について復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	筋骨格系疾患(骨折)、循環器疾患、呼吸器疾患の子どもの看護		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	本授業における疾患の子どもと家族の看護を述べることができる	教科書 AV機器他	この授業に関連する疾患について復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	悪性新生物、腎泌尿器疾患、神経疾患(てんかん)、眼疾患(斜視)の子どもの看護		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各パターンの小児の情報およびアセスメントの視点について述べるができる	教科書 AV機器他	これまでの看護過程を想起しておく
		各コマにおける授業予定	小児の看護過程 ゴードンの機能的健康パターンを活用したアセスメントガイド		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例の情報収集と情報の整理、情報の解釈・分析ができる	教科書 AV機器他	事例の病態生理・検査・治療の学習をしておくこと
		各コマにおける授業予定	各事例の看護過程展開(グループワーク)		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例の全体像(関連図)、看護問題と優先順位の決定ができる	教科書 AV機器他	事例に対して看護のアセスメントをまとめ、所定の用紙に記述しておく
		各コマにおける授業予定	各事例の看護過程展開(グループワーク)		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例の看護過程をまとめ、発表できる	教科書 AV機器他	記述までに事例について所定の用紙を提出し、発表準備しておく
		各コマにおける授業予定	各事例の看護過程展開(グループワーク)		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	小児の特徴をふまえた看護過程のプロセスを述べるができる	教科書 AV機器他	発表を通して、看護上の問題まで修正しておく
		各コマにおける授業予定	小児看護過程のまとめ		